



七夕に願いを・・・。天まで届け～
障がい者支援施設 石川学院



7月は『七夕』の季節という事で、創作活動で書いた短冊に願いを込めて…『♪さ～さ～のは、さ～らさら～(^^♪』と、皆で歌を歌いながら、笹の葉に飾り付けをしました。『願い事よ、天まで届けー!!』と、竹の上の方に飾る利用者さんや、二つ、三つ、願い事を書き、丁寧に笹に結ぶ利用者さんもいました。七夕の飾りと短冊で彩りを添えられた笹は学院正面玄関に立てられました。

蒸し暑い日が続いている今日この頃、そよ風になびく七夕飾りを見ながら、利用者と共に少しだけ涼しんだひと時を過ごしました。“彦星さん織姫さん、願い事宜しくね！”（主任:上地 博樹）

ぜんざいパーティー

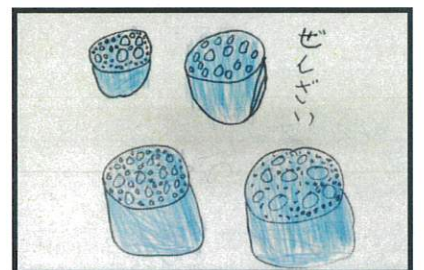
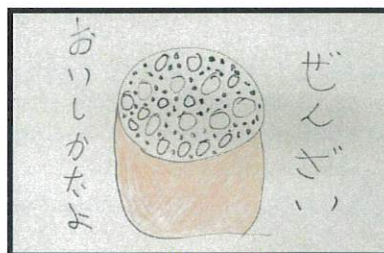
障がい者支援施設 石川学院



去った7月19日、みんな大好き沖縄スイーツ“ぜんざい”を作りました。前日に小豆を水につけて下準備したはず・・・でしたが小豆が多くて、翌朝、ほぼ水につかっていない状態でスタート。急ぎよ熱湯を注いで「なんくるないさ～」の気持ちでお鍋にかけました。煮ること30分、“そろそろかな”と砂糖を加えたのですが早すぎました。お鍋から出すと、“いつもとちがうなあ”とは思ったのですが、煮詰めたら何とかなるかとそのまま仕上げました。出来上がったぜんざいに、氷を盛って実食。上品な甘さのぜんざいは、とってもクラッチーな仕上がりとなっていました。午後には室内でスイカ割りも行い、皆「右、左」等、声を出して楽しんでいました。

(生活支援員: 當眞 佑介)

※後日、感想を絵にして貰いました。



おやつ作り（わたあめ）

児童デイサービス 石川学院



最近暑い日が続く夏を感じます。新型コロナの影響で夏のイベントが次々中止になる中、夏祭りで定番のわたあめ作りをしました。

作り方の説明をしている時から、みんなソワソワ。指導員手作りのわたあめ機を見ると「これでどうやってわたあめができるの？」と興味深々(*'▽') いざ、わたあめ機を作動させ、中からわたあめが出てくると、みんな必死に割りばしで絡め取って完成。試食すると「わたあめだー！」「美味しい！」との声を頂きました(*^^)

おやつ作り終了後も、わたあめの甘い香りが漂い、祭り気分をあげていました。(指導員:仲宗根 敬)

グループ外出（水辺で涼しく）

生活介護センター石川学院



去った7月8日、金武町大川児童公園へグループ外出を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染防止の関係で人が少ない場所を検討し、場所も限られていましたが、利用者さんは水に触れたり公園内を散策したりと楽しめた様で、かき氷もおいしそうに食べ、笑顔も見られました。

外出する機会を設けることが難しくなっていますが、職員一同、感染拡大防止に努め、利用者さんが健康で安全に過ごせるよう取り組んでいます。(生活支援員:宮城 佳代子)

ドライブ外出（海中道路） 居住支援事業所 花かご



6月21日の日曜日、利用者さんからの「ドライブに行きたいね、マックも食べたいな」との要望で、海中道路へ！車中では、ピンクレディーのCDを聞きながら熱唱♪したり、お喋りを楽しんだりしました。

海の駅に到着後、ちょっと休憩。冷たいアイスクリームを堪能し、マクナルドで購入したバーガーをホームに戻っておいしく頂きました。(世話人:永山光枝)

・利用者さんより一言

「コロナで何処も行けなかったけど、みんなと一緒にドライブに行って楽しかった。また行きたいなー」(伊佐京子)

「今までは、コロナの影響で何処にも行けず悲しかったけど、ふきのとうのみんなと、音楽を聴きながら、お喋りもできて楽しかった。アイスも食べておいしかったです」(石川純)

夏はやっぱり・・・（調理実習） 地域活動支援センターみほそ



夏といえば・・・という事で、今回は冷やしそうめんといなり寿司を作りました。みんなで考案した具材を切ったり混ぜたり等、お喋りしながら下ごしらえし、失敗しないよう時間を計りながらそうめんを茹で、煮詰めて味付けた油揚げに酢飯を詰めて、いなり寿司も完成！美味しく食べる為、盛り付けもこだわりました。するするっと食べられ、食欲が減退しがちな夏にピッタリのメニューでした♪(指導員:兼本 めぐみ)

張り切って営業してます（＾＾） 就労支援事業所 こみこみ

今日も、お客様が気持ちよく来店できるように気合を入れて、開店前の準備で掃除に大忙し。弁当、パン、野菜等を店舗に並べて、いざ、お客様が来ても迎え入れる準備はOK。暑さやコロナに負けないように今日もお仕事頑張っていきます！！(サービス管理者:辺土名 朝晃)





〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-1

障がい者支援施設石川学院

児童デイサービス石川学院

Tel:098-964-2286 Fax:098-965-6004

生活介護センター石川学院

Tel:098-964-2239 Fax:098-965-6004

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

就労支援事業所 こみこみ

(就労移行支援・就労継続支援B型)

Tel:098-963-0073 Fax:098-963-0074

作業棟(石川学院敷地内)

Tel:098-963-0305 Fax:098-963-0306

ハピメロ(うるま市役所東棟1階)

居住支援事業所 花かご

ふきのとうホーム・のぼたんホーム

居住支援事業所 風

かぐや姫ホーム・ちゅうりっぷホーム

居住支援事業所 きさん

ぽこ・あ・ぽこホーム

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

相談支援センター石川学院

※強度行動障害支援者養成研修修了の

相談支援専門員を配置しています。

Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-2

ロジャーズ館3F

社会福祉法人 起産石川 事務局

Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106

うるま市石川2-2-1 108号

地域活動支援センターみほそ

Tel:098-989-8146 Fax:098-989-8147

Mail: mihosos@otc.ne.jp

発行日:令和2年8月14日発行

発行責任者:理事長 太 直美

編集担当者:事務局 山城 裕

<https://kisanishikawa.jp/>



職員インタビューNo.53

居住支援事業所 花かご 世話人 比嘉啓子



Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください

純粹さを求めて、福祉分野のドアを初めてノックしてみました。早8年が過ぎましたが、利用者さん達の純粹さと観察力には時折驚きと感動を頂いています。

Q2:モットーは？

常に平常心で！笑顔で！

Q3:利用者さんとの思い出は？

グループホーム配属前、生活介護センターで2週間程実習をしました。その時関わっていた利用者さんが、3年くらいたった頃、スーパーで買い物をして私の肩をたたいて、笑顔で挨拶してくれました。あのとびつき嬉しかった思い出は忘れられません。

Q4:趣味は？

旅行は大好きですが、コロナ禍の今は、スーパーやコンビニで美味しいようなアイスを見ついたら買って食べてしまいます。

Q5:今後の目標は？

利用者さん達に、のぼたんホームで過ごせて良かったと思って頂けるよう、痒い所に手が届くような支援を目指したいと思います。

Q6:バトンはどこへ？

明るくて、綺麗で、頼りになる伊保リンダさんへ

8月現在の新型コロナウイルス感染防止対策

7月下旬より県内では新型コロナウイルス感染者が急速に拡大しており、県では独自の緊急事態宣言を8月1日～8月15日まで発出しています。13日現在では、人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数が12日連続で全国最多を記録し、米軍全国12基地の感染者112人の内、6割以上に当たる75人が県内基地で出ています。今般の状況を鑑み、当法人では下記の新型コロナウイルス感染防止対策を実施していますが、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます（法人事務局）

記

- ①保護者・面会者の渡航歴を確認させて頂いています
- ②健康チェック表の記入をお願いしています。
- ③「喚起の悪い密閉空間」「多数が集まる密閉空間」「間近で会話する密閉空間」の3密を避めましょう。
- ④通所利用者さんは送迎前の検温と37.5度以上の発熱がある場合はご利用を控えて頂きます。
- ⑤通所利用者さんで、当法人以外の他の事業所を併用の場合、どちらか一方の事業所を選択してサービスを利用して頂きます。
- ⑥県外への渡航、又は来沖した人と会う場合(同居家族も同様)はサービス利用を2週間控えて頂きます。
- ⑦短期入所の利用は、緊急性がない場合は控えて頂きます。
- ⑧入所での短期入所を予定している方に、グループホームでの短期入所を提案する場合があります。
- ⑨入所・ホームの利用者さんは基本、保護者との外出、自宅への外泊は控えて頂きます。
- ⑩面会は緊急・やむを得ない場合に制限。その場合も事前に検温してもらい37.5度の発熱があれば、面会を控えて頂きます。
(個別に事前調整しながら実施)